



スーパーGT用ホイール由来の10本スポーク形状を採用。大胆な弧を描くディスク面は、立体的な表情を作り出すとともに、深いコンケイブを主張する。そして、駄肉を落としつつ、剛性も確保。また、その高性能を鑄造で実現し、手頃な価格に設定されているのも嬉しい。



リム部は2段階構造化することで剛性を確保。また、タイヤとの咬合にも強いこだわりを見せ、どういった入力があってもタイヤの性能をフルに活かせる...と、ラリー参加者の信頼を得ている。



センターホール周辺にも軽量化へのこだわりが見受けられる。中央の窪みは、一般的にはハブ面に対し垂直になるが、ZR10はマイナスの角度にえぐられているのだ。スポーク部のラインもただ削るだけでなく、局面を巧みに使って剛性を確保。こういった数々の細かな工夫により、軽さと強さを両立させた。

ラリーマシンが願望するポテンシャル 軽さと剛性、そしてコスパも圧倒的!

ワークエモーションのシリーズ20周年を記念して昨年デビューした「ZR10 (ズィーアールテン)」は、シリーズ最高スペックを志向した本格スポーツモデルだ。

それはワークで広報を担当する吉川さんの「同じサイズであればシリーズ最軽量」という言葉がすべてを物語る。スーパーGT用ホイールから派生したデザインで、なおかつ徹底的に駄肉を削ぎ落とす。しかも、軽さと剛性の両立を鑄造製法で実現するのがワーク流。結果、高性能とカッコ良さに加え、手の届く価格まで連立することに成功したのだ。

実際に履くとどうか? 今、最大の注目車種、GRヤリスの例を見てみよう。吉川さんは「GRヤリスは4WD、FFを問わず、強いサイズが装着できます」と話す。サンプル車

に装着したのは8.5J×18+38。「旋回性が良い素材なので、横剛性がどうか知りたい。回頭性に準じた仕様が必要になるかもしれないので。全日本ラリーなど過酷な条件の競技は良いデータ収集の場なのですが、2020年は残念ながらコロナ禍でそれが難しかった」と吉川さん。

車両の所有者、ウェルバインモータースポーツの松井さんは「ラリーでは8Jまでしか使えないので、コレでジムカーナとかで遊びたいですね」と話す。ZR10を選んだ理由を訊くと「めちゃくちゃカッコいいから」とシンプルな返答。確かに白いボディに、白系のホイールの相性は抜群! 「30~40mm落としてきた」という車高とも相まって、絶妙なスタイリングを誇示する。「ラリーでは同じワークのMCカラー

シングが定番ですが、ZR10を好むドライバーもいる」と松井さん。モータースポーツへのサポートを継続するワークの姿勢に「ありがたい」と、感謝の言葉も忘れない。

カラーバリエーションを豊富に揃え、さらにオプションカラーにも対応。また、特殊P.C.D.のオーダーも可能だ。身近な存在でありつつも本格スペックを誇るZR10は、多くの人が“自分流”に楽しめる点も魅力なのだ。



WORK WORK EMOTION ZR10

ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>



6J×15のKカー用から10.5J×19まで幅広いサイズ設定を誇る。カラー設定も豊富で、4種類の標準色に加え、キャンディレッド、光の当たり方で色が変わって見えるアステリズムなどが選べる「カラリズム」を駆使することで、様々なカラーを手に入れることが可能。スポークステッカーも色違いをオプション販売している。

INCH	SIZE	HOLE	P.C.D.	INSET	PRICE (without tax)
15	5.0J	4	100	45 (セミテーパー)	¥30,000~¥33,000
	6.0J	4	100	38, 48 (セミテーパー)	¥32,000~¥35,000
16	5.5J	4	100	45 (セミテーパー)	¥34,000~¥37,000
	6.5J	4	100	38, 50 (セミテーパー)	¥36,000~¥39,000
17	7.0J	4, 5	100	47, 53 (セミテーパー)	¥44,000~¥47,000
		5	114.3	38, 47, 53 (セミテーパー)	
	8.0J	5	114.3	35, 47 (セミテーパー)	¥46,000~¥49,000
18	8.5J	5	114.3	17, 32 (ディープテーパー)	¥48,000~¥51,000
		5	114.3	47, 53 (セミテーパー)	
	9.5J	5	114.3	38, 47, 53 (セミテーパー)	¥48,000~¥51,000
19	8.5J	5	100	47 (ミドルテーパー)	¥50,000~¥53,000
		5	114.3	32, 38, 47 (ミドルテーパー)	
	9.5J	5	114.3	12, 22, 30, 38 (ディープテーパー)	¥52,000~¥55,000
19	10.5J	5	114.3	12, 22 (ウルトラディープテーパー)	¥54,000~¥57,000
		5	114.3	30, 38, 45 (ミドルテーパー)	
	8.5J	5	114.3	23, 30, 38 (ディープテーパー)	¥55,000~¥58,000
10.5J	5	114.3	15, 23, 30 (ウルトラディープテーパー)	¥57,000~¥60,000	

※カラー：アズールホワイト、チタンダイヤリップカット、ブラックダイヤリップカット、グリミットブラックダイヤカットリム
※オプションカラー：カラリズム(8000円UP)、キャンディ(8000円UP)、アステリズム(1万2000円UP)
※センターキャップ別売り：3000円 レッドリングキャップ：4000円
※特殊P.C.D.対応：17インチ~19インチ 6000円UP
※付属品：エアバルブ、スポーツデカール(レッド)



装着マシンは女子チームでラリーに参戦する、ウェルバインモータースポーツのGRヤリスRS。代表の松井さんによると「ラリーでのライバルは素のヤリス」だそうだが、タイヤ&ホイールに関しては純正で8J×18、225/40タイヤを履くGRヤリスにメリットがある。撮影車両は8.5Jと「純正超え」しているため、ラリー狙いではなくジムカーナ狙いとのこと。

